

議会による行政評価(試行)

※町の平成20年度決算に基づき試行的に行った事務事業の評価に対する、議会評価を下段の要綱により全議員(12名)が行いました。評価点数は全議員の平均値です。

事務事業名

評価

評価のコメント

○福島横綱健康応援プロジェクト

- ・内容: 30歳以上を対象とした乳がん検診
- ・対象: 30歳以上女性2,401人
- ・検診者数: 153人
- ・トータルコスト: 1,714千円

■全体評価(平均値)
 ・質 3.75 ・量 3.75
 ・方向性
 A=7人
 B=5人

- ・検診率の向上が図られている点は評価できる。医療費の抑制に繋がっているのか事後チェックが必要。
- ・今後、町民全員が検診できるような対策を期待。
- ・食生活の改善、生涯学習(健康と運動等)等、平常の生活の中にガンの予防対策に通じる対策を導入する工夫をしていくべきではないか。

○丸山団地町営住宅建替事業

- ・内容: 町営丸山団地(1団地)76戸建設
- ・解体戸数: 8戸(H20解体事業のみ)
- ・トータルコスト: 15,980千円

■全体評価(平均値)
 ・質 3.08 ・量 3.41
 ・方向性
 A=3人
 B=9人

- ・過疎化の中での将来建替は慎重に。
- ・地元業者に与えた経済効果は大。
- ・「住宅政策」そのものを引き続き「公的対応(公営住宅等)」で計画していくのか、「民間対応(資本投資)」を主にして、公的支援を考えていくのか、検討すべき段階にある。

○産業活性化サポート事業補助金

- ・内容: 先進地視察研修 他
- ・対象: 産業関係団体 13団体
- ・参加者: 1団体6人
- ・トータルコスト: 285千円

■全体評価(平均値)
 ・質 2.50 ・量 2.41
 ・方向性
 A=1人 B=6人
 C=5人

- ・目的は良いが、規模が小さく成果が小さい
- ・積極的に活用するのであれば、名称や用途も変更し産業団体以外の利用も良いのではないか(ふるさと応援基金との調整も必要)
- ・単にサポート補助に留まらず、成功までの支援が必要と思慮する。目標とその実践、到達計画の設定で確実な展開が図られると良い事業になると考える

○議会による事務事業評価(試行)要綱【抜粋】

(目的)

事務事業に点数をつけることで議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度の予算へ反映させる。

(評価方法)

事務事業を議員個々が「質的評価」と「量的評価」の二つの観点で、1点から5点までの5段階で点数化し、合計した10点を満点とする。また、現状と今後の方向性を「A」「B」「C」の三段階で評価し、加えて、評価のコメントを示す。

指標

「質的評価」の主な指標

- ① 効率性
- ② 公平性
- ③ 町民満足度
- ④ 有効性
- ⑤ 目標達成度
- ⑥ 町民との協働度

「量的評価」の主な指標

- ① 事業の必要性
- ② 事業費の妥当性
- ③ 事業への町民ニーズ

「現状と今後の方向性」

- A: 高い評価ができる。さらに発展的継続をすべきもの。
 B: ほぼ妥当な評価ができるが、修正を加え継続すべきもの。
 C: 不十分な点が多くみられる。廃止も含め相当な検討が必要なもの。